

#### 4) 講評

ふれあい自然体験活動

弘前市立中央公民館館長補佐 泉谷 洋

研修会には直接参加していなかったのですが、小学生、中学生それから少年教育指導員がスタッフとして関わったときの感想等の資料がありますので、そちらのほうを紹介していきながら講評にかえていきたいと思えます。

はじめに研修に参加した子どもたちの感想を紹介します。

<小学生の感想>

- ・ 参加するのがおっくうだったけどすごく楽しかった。これからは子ども会に参加していこうとおもっている。
- ・ 初日と2日目までは早く帰りたいと思っていましたが、3日目の別れの集いのときはあと2日くらいはいたいなあって思った。
- ・ 友だちがたくさんできた。友だちの数24人。
- ・ 研修にくる前には緊張していたけど、すごくおもしろかった。
- ・ この3日間で森のことや協力の大切さをしっかり学べてよかった。
- ・ 来年の研修もここでやりたい。
- ・ 来年も参加する。チョー楽しかった。
- ・ みんなではしゃげたところ(学校の宿泊体験ではこおいうはしゃぎはできない)
- ・ 大学生や高校生とたくさん話せた。
- ・ 高校生や大学生リーダーがおもしろかった。
- ・ 大学生の人たちがやさしく教えてくれた。

小学生全部で85人参加しましたがそのなかで代表的ないい部分だけ紹介しました。

次に中学生の研修会に参加した子どもたちの感想です。中学生は51人の参加でした。

<中学生の感想>

- ・ たくさんのプログラムがあつてとても楽しかった。
- ・ 肝試しとか中学生の好きそうなものやってくれてよかった。
- ・ ほかの中学生と友だちになりすぐ仲良くなれた。
- ・ いろんな人とふれあう時間が多くてよかった。
- ・ 風呂にみんなで入ったことがよかった。
- ・ 高校生リーダーと大学生リーダーがいてくれてとても楽しい3日間になった。
- ・ 高校生リーダーや大学生などの大人の人全員いい人です。来年も同じ人がいいです。

という風な感想になります。特に中学生の研修会の感想の中では、ほとんどの人が‘友だちができた’‘仲良くなれた’という感想を書いてありました。特別“ともだち”という文字ばかりが目について印象に残っております。

この研修会は小学生研修会、中学生研修会、リーダー研修会という3本だてでやっているのですが、この研修会の目的というのは、子ども会に関心をもっていて参加していただくことです。そして将来的には子ども会のリーダーとして活躍してほしいというねらいがあります。そのねらいについては今日明日に結果がでるものではありません。何年かして高校生、あるいは大学生になってから発揮していくことになるのかもわかりません。予定のプログラムを無難におえて、今ご紹介したように“楽しかった”“友達ができた”“また参加したい”という風な感想が多く寄せられているということから考えてみても、この研修会は、子どもたちにとっては有意義であり、子ども会のリーダーを育てる以外の部分もあったと考えています。企画段階から関わりを持った大学生の存在が非常に大きなものであったと思えます。大学生にとっては事前に厳しいトレーニングを積んできたとは言いながら、研修会のイメージがなかなかつかめなくて、どう参加すればいいのか

と戸惑いもあったと思います。

弘前市の子ども会の研修会は実は50年の歴史を数えております。今年で50年です。しかし今年度はじめてということが3つありました。1つめは小学生を対象に宿泊研修会をやったということです。これに関しては、小学生は研修をする前に生活指導が中心で、なかなかそこまでいかないのではないかと、あるいは中学生と一緒にすることで、中学生から小学生にあまりよくない情報が流れて行くのではないかとという心配がありました。

2つめは場所を岩手山青年の家に変えたということです。今まで青森県青年の家だったのですけれども、人数が多くなるということで岩手山に変えたわけです。そういうことで岩手山の勝手がわからないという不安があったということと、非常に場所が遠いことになるので、必要なスタッフが確保できるかどうかという心配がありましたが、それは大学生が加わっていただいたということでその辺はクリアできました。

3つめにはフレンドシップ事業と今回のこの事業を連携して、大学生をスタッフとして加えたということです。大学生については、スタッフと関わり合いながら子どもたちとうまく触れ合うことができるかどうか。いままでは子どもたちのすぐ上というのが高校生だったのですが、その高校生と大学生の関係がうまくいくのかという心配がありました。このように初めてのことが何点かあったわけですが、先程の学生の報告から“得たものが多かった”“触れ合うことができた”ということを書いておりました。

小学生研修会での大学生の関わりは、班付きリーダーということで高校生と一緒にやっていたということですが、リーダーというよりは班付きスタッフという考えで、高校生とは一線を隔していたつもりでした。中学生研修会ではプログラムの運営の面で協力していただいたということです。これについて、スタッフとして関わった弘前市の少年教育指導員が、大学生の関わりについてどう感じていたかということは何点か紹介したいと思います。これについては今後も大学生に期待したいという部分が多いあらわれではないかと思えます。

#### <スタッフの感想>

まず小学生研修会に関わったスタッフの感想

- ・ 班内によく溶け込んで活動していた。
- ・ スタッフ間の共通理解を図る工夫が必要だと感じた。
- ・ 大学生の積極的な姿勢が輝いていた。
- ・ 高校生と大学生がよく参加者をまとめてくれて運営がスムーズにいった。
- ・ 高校生のほかに大学生も加わり良い点悪い点もあったかもしれないが小学生を動かしていくにはよかった。
- ・ 高校生プラス大学生の活動が初めての試みとしては充分だった。
- ・ 不安材料だった高校生と大学生の関係が2日目には消え去りうまくいった。
- ・ 夜中に高校生を連れ出し遊んでいるのが見られるなど風紀を乱している場面があった。

次に中学生研修会に関わったスタッフの感想

- ・ 大学生の参加がありスタッフはとても助かった。
- ・ 大学生の参加によりとても充実した指導、援助ができた。
- ・ 大学生を迎えたおかげで運動会のような人手のいるプログラムが可能になり楽しめた。
- ・ 臨機応変に対応できない大学生がいて、指導員が大学生を指導する場面が見られた。
- ・ 大学生の参加により助けられた反面、力不足が見られた。

というものです。

最後になりますが、本当に今回関わっていただいた大学生には心から感謝しています。この研修会をこれからも向上させて行くため、できれば来年もフレンドシップ事業と連携して子ども会の研修会を開催していければと考えております。参加メンバーとして、公

民館職員あるいはスタッフとして関わっている少年教育指導員、大学生、高校生、それに中学生、小学生といますけれども、指導する側のスタッフの役割分担とお互いの関係をより明確にしていくことが、研修会をさらに向上させていく1つの方法になると思っています。公民館あるいはみなさんの力を借りながら、どういう役割分担をしていけばいいのかというのがこれからの課題になると思います。そして、子ども会の活動は年間いろんなところで行われているものです。お願いなのは、今回の子ども会研修会に参加して終わりというのではなく、今回参加していただいた学生を中心に、子ども会の日常的な活動についてもボランティアとして協力していただくことができればありがたいなと思っています。これからもフレンドシップ事業の子ども会研修会への関わりを非常に期待しております。